



## B型肝炎ワクチンが2016.10から定期接種になります

### ① B型肝炎てどういう病気

肝炎はウイルス感染で起きる病気で、ウイルスの種類により A 型から E 型まで分けられています。その内主なものは食物から感染する A 型、様々な経路で感染する B、C 型肝炎です。B 型と C 型の肝炎は将来肝臓がんになる危険性があり、現在日本の肝臓がんの 75% が C 型肝炎から、15% が B 型肝炎から移行しています。特に B 型肝炎は感染力が強く感染の可能性が高い肝炎ですが、予防接種で抗体を作ることで予防可能です。

### ② B型肝炎ってどんな特徴を持っているの？

B 型肝炎の感染経路はお母さんからの感染（縦の感染なので垂直感染と言います）、周囲からの唾液、血液、涙などの体液からです。従って、感染のリスクは誰でも持っています。（横の感染なので水平感染と呼びます。お父さん、きょうだい、友達からも移ります）。乳幼児期に B 型肝炎に感染すると免疫力が弱いためウイルスを排除することができず、感染を持続する状態となり（キャリアと言います）、成人になってから慢性肝炎、肝硬変、肝臓がんに移行する可能性があります。それまでは症状が出ないので、検査をしないと感染しているかどうか分かりません。これを防ぐためには全ての日本人がワクチンを受けて抗体を持つことが大切です。

### ③ B型肝炎の内容が変わってきています

B 型肝炎のウイルスには A から H までの 8 種類の遺伝子型があり（つまり B 型の C というようなことです）、日本では B と C の遺伝子がほとんどを占めていましたが、最近は欧米に多い A 遺伝子の B 型肝炎が急増しています。A タイプは B や C タイプと異なり慢性化し、肝臓がんになりやすいのです。

日本でもやっと B 型肝炎ワクチンが定期化されます

世界の状況を見てみると、WHO(世界保健機構)加盟国 194 ヶ国のうち 185 ヶ国で B 型肝炎ワクチンが定期接種されています。日本でもやっと世界で 186 番目に定期化されることになりました。

### ④ 定期接種の対象は？

2016 年 4 月生まれ以降で 1 歳未満のお子さんが対象で、生後 2,3,7 ヶ月が標準の 3 回接種になります。

時期が多少ずれても大丈夫ですが、1 歳を過ぎると有料になります。

年齢が過ぎても接種をお勧めします

B 型肝炎ワクチンは感染を防ぎ、将来の肝硬変や肝臓がんを防ぐ大切なワクチンです。学童のお子さん、ご両親、誰でも受けることが出来ます。院長の私は東北大学病院勤務時代の 40 代にワクチンを接種しました。全ての方がこのワクチンを受けることをお勧めします。